

授業科目	* キリスト教と生命倫理				単位	1				
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	M I11106J			
開講年次	1 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP3-1					
担当教員	田中 満由美、古川 敬康									
授業概要	<p>本学の教育の基盤となるキリスト教精神に基づく人間観や世界観について解説する。生命科学と医療技術の急速な進歩により生命が人の手によって操作される現代、様々な倫理的課題が浮上している。一個人、助産師としてこれらの課題に向き合い、自身の見解を述べ、全体で討議(討論)していく。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的人間観と世界観が説明できる 2. 母子に関わる倫理的課題に対して、助産師の役割が説明できる 3. 胎児の権利の擁護、生殖補助医療、代理出産、人工妊娠中絶、出生前診断(いのちの選別)に関連した生命倫理に対する課題について説明できる。 4. 他者との価値観の相違も踏まえ、生命倫理に対して自己の意見を述べることができる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	70	30	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)			20	10			30			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)			50	20			70			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
周産期にまつわる生命倫理の課題について幅広い視野をもって説明できる。 生命倫理に関する倫理的見地からみた助産師の役割が説明でき、広く応用できる。					到達目標 1~4 について説明できる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	テーマ:キリスト教精神に基づいた人間観と世界観 (古川敬康)	講義	復習:該当部分を参考図書も活用	30
2	テーマ:生命科学の進歩と宗教について(古川敬康)	講義	復習:該当部分を参考図書も活用	60
3	テーマ:いのちの尊重 倫理と助産業務 (田中満由美) ・いのちの尊重 ・胎児の権利の擁護 ・出生前診断と妊婦の意思決定の支援	講義 ディスカッション	<事前課題> 自己の考える「いのちの尊重」についてレポートし、講義に臨む	60
4	テーマ:生命倫理について (田中満由美) 生殖補助医療、代理出産、人工妊娠中絶、出生前診断(いのちの選別)に関連した生命倫理	講義 個人ワーク	<事前課題> ①生殖補助医療、②代理出産、③人工妊娠中絶、④出生前診断(いのちの選別)について最近の社会の動向について調べる。 以下の内容についてレポートし期日までに提出する *①～④に関する収集した文献、資料などのまとめと自己の見解	60
5	テーマ:生命倫理について考える (田中満由美) 討論会① 生殖補助医療、代理出産	ディスカッション	<事後課題> 事前課題に引き続き、①～④に関する他者の見解と自己の見解の見直し、助産師の役割についてレポートし、期日までに提出する	60
6	テーマ:生命倫理について考える (田中満由美)討論会② いのちの選別(出生前診断、人工妊娠中絶など)	ディスカッション	同上	60
7	テーマ:高度不妊治療の現場を知る(外部講師) 不妊治療専門クリニック見学	見学実習	生殖補助医療・胎児診断について予習しておく。 復習:該当部分を参考図書も活用	60
8	テーマ:高度不妊治療の現場を知る(外部講師) 不妊治療専門クリニック見学 まとめ	見学実習	同上	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本学の基督教に基づく教育を特徴とする科目であり、広い分野に応用できる内容である。積極的な姿勢で取り組んでください。			
テキスト	助産学講座 2 基礎助産学[2]母子の基礎科学 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座 7 助産診断・技術学 2 [2]分娩期・産褥期 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座 5 助産診断・技術学 I 堀内成子他編 医学書院 聖書			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	出生と死をめぐる生命倫理 医学書院 仁志田博司著 Mother:いのちがうまれる 宮崎 雅子 医学書院 母と娘の代理出産 看護のための生命倫理[改訂版] はる書房 小林亜津子著ナカニシヤ出版 誕生死 三省堂 いのちと向き合う看護と倫理 エルシー・L・バンドマン他人間と歴史社 誕生死・想 三省堂 とともに生きる 中央法規 赤ちゃんの死を前にして 中央法規 看護倫理学—看護倫理学における倫理的基盤—,松木光子編 ヌーベルヒロカワ 意思決定の 10 ステップ,ジョイスEトンプソン他著、山本千紗子監訳:日			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	生殖医療や倫理的問題について関心を持ち、図書館等を利用して積極的に学習を深めてください。			

達成度評価に関するコメント	レポートの詳細については、授業の中で提示します。 発表方法については授業の中で提示します。
---------------	--